

緑 化 通 信

2016
2月25日
(年7回25日発行)
第450号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03) 3586-7361 FAX.(03) 3586-7577
URL: http://www.ueki.or.jp/
E-mail: honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

平成二十八年度通常総会

—1月22日(金)—

福岡市ホテルセントラータ博多で—

(一社)日本植木協会は、平成28年度通常総会を、1月22日(金)福岡市の「ホテルセントラータ博多」で開催した。

【総会前理事会】

通常総会の開会に先立

議事は平成28年度総会等への対応、役割分担等について

午後1時半から開会し、関係行政庁、団体からのご来

【通常総会】

平成28年度通常総会は、

て打ち合わせを行い、円滑な総会・大会の運営を図ることとした。

水城清志会長挨拶



皆様、あけましておめでとうございます。

平成28年度第43回通常総会を福岡市で開催させて頂くにあたり、林野庁森林整備部整備課の吉村様、福岡県議会議員の十中先生、福岡県農林水産部次長の吉村様、福岡市住宅都市局の馬場様、久留米市副市長の橋本様を始め、公私ともお忙しい中、本日は非常に多くの方にご参集いただき心より感謝申し上げます。

私たち日本植木協会は一般社団法人に移行して4年目を迎えることとなりました。公益目的事業という大きなテーマを掲げながら、緑育出前授業、環境緑化樹木識別検定など、複数の公益事業を展開しているわけでございます。

昨年は、環境緑化樹木識別のポイント講習会や検定試験、植生アドバイザー育成講座に、協会外より多くのご参加を頂き、私たちも非常に心強く感じ、これも事業に携わった委員の皆様のご努力の賜物であると感じより感謝申し上げる次第でございます。

小学生などを対象とした緑育出前授業は、保護者の方々も含め約1,400名のご参加を頂き13箇所で開催いたしました。環境に対するみどりの有用性や大切さを、子供たちまた地域社会へ根付かせるための大きな事業だと捉えております。

また昨年は、北海道・東北ブロック会員協力のもと宮城県石巻復興記念公園事業における試験植栽に協会として参画する、という大きな成果を得ました。今後、東北三県における復興事業ではこのようなケースが必ず増えてくるものと思います。これを機に東北の復興とまちづくりに協会として貢献して参りたいと思う次第でございます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催も、私たちにとつて追い風になることであると期待しております。海外からの来訪者に日本の樹芸文化を見て頂く絶好の機会であり、東京を含めた地域、新しい日本をアピールするため協会全体で取り組みたいと思います。

今後予想される植木の需要に応えるため、現在の供給可能調査結果より、さらに詳細でニーズに合った情報提供を現在検討しており、植木業界としてみどり豊かな日本に貢献する所存でございます。

結びになりましたが、本日の総会開催にあたり会場設営・運営に携わられた皆様方、お骨折り頂き本当にありがとうございます。皆様のご活躍を祈念申し上げると共に、新しい地域・日本の姿に我々が貢献できる、そのような日本植木協会にしていきたいと思っております。

本日はどうもありがとうございました。

資7名と会員の出席を得た。

開会に先立ち、事務局から定足数の確認が行われ、本人出席136名、委任状149名、計285名で総会が成立したことを告示した後、植木清志副会長の開会の辞で開幕した。

はじめに水城清志会長の挨拶があり、来賓を代表して吉村洋林野庁造林関係対策室長林野庁長官代理、吉村恭一福岡県農林水産部次長(福岡県知事代理)、馬場隆福岡市住宅都市局長(福岡市長代理)、橋本政孝久留米市副市長(久留米市長代理)の四氏から祝辞をいただいた後、来賓の紹介と有村治子顧問、藤丸敏顧問他の祝電が披露された。

この後、協会会長表彰がおこなわれ、水城会長から役職功労表彰が理事の退任者4名、ブロック長3名、支部長5名(1名が都合により欠席)に対し授与され、続いて、特別庭園樹木(名木)認定証が4名及びアボック・カルタ賞が1名に授与された。

議長団には、議長二村沢行氏(大分植木)／大分県)を、副議長大森信哉氏(大森樹芸園／熊本県)と湯之上睦氏(有湯之上園芸／鹿児島県)を選出し、議事録署名人には後藤英保氏(有阿蘇造園／熊本県)、酒見博文氏(有酒見緑化園／大分県)が指名された。

議事は、審議事項の第一号議案 平成27年度決算報告及び監査報告について、



郡司克人専務理事から決算及び事業報告の説明があり、荒井利昌監事から監査の報告がなされ、賛成多数で承認された。

続いて第二号議案 役員の選任について事務局から説明があり、理事・監事候補者は満場一致をもって承認された後、別室において臨時理事会を開催した。

臨時理事会では、秋山富士雄理事(有あすま緑化園／埼玉県)が議長となり役員を選任を行い、理事互選により新しい執行体制が誕生し、会長に就任した大倉孝行氏(有グリーンシシクラ／埼玉県)から挨拶があった。(新役員の氏名・役職は次項にて別掲)

続いて、議長は報告事項について、事務局に説明を求め、専務理事が、以下の報告事項について配布資料に基づき

- 1 平成27年度事業報告(第一号議案の説明の際に説明済み)
- 2 平成28年度事業計画と収支予算

について報告した。

質疑応答では、社團別生産数量調査事業について、当初の目的を達成したとあるが、当初の目的とは何

か、また、集約したデータの活用についてどのように考えているのか質問があり、当初の目的は生産量をデータ化するためのシステム作りであり、データについては公開の方で考えており、今後、提供者の了解を得て協会内での情報提供を図っていきたいと回答した。

会長の古賀敬至氏に挨拶をいただき、最後に賛助会員からの自己紹介があり、午後4時15分に阪上和彦副会長が閉会を宣言し通常総会を閉会した。

【記念講演】

記念講演は、(有志緑塾)代表取締役 大谷由里子氏が講演された。

大谷由里子氏は、吉本興業(株)において故・横山やすし氏のマネージャーを務め、宮川大助・花子をはじめ数多くのタレントを売り出すなど注目を集めた後、(有志緑塾)を設立して人材活用プロデューサーとして活躍されている。講演は吉本興業で得たノウハウを生か

引き続き、新入会員・賛助会員の紹介、平成29年度の通常総会開催地である中国・四国ブロックの加藤一巳氏から挨拶をいただいた後、青年部の紹介では副部

した「コロロの元氣」の作りの方をはじめ、地域の活性化への取り組み事例などユニモアを交えながら紹介された。聴衆者は講演に引きこまれ、笑声も絶えず大盛況の講演であった。

【意見交換会】

総会終了後、西郷純一鹿児島県支部長と上野恭一九州ブロック監事の司会で意見交換会に移り、始めに、二村沢行ブロック長の開会の辞に続き、大倉孝行新会

長続いて、協会顧問の古賀誠元衆議院議員、有村治子参議院議員秘書の唐川達也

栗原渉福岡県議会議員の乾杯により、懇談・懇親の宴に入った。全国各地からの会員とご来賓の方々とこの機会に盛り上がり、宴たけなわの中に、豊岡敏則九州ブロック長の閉会の辞により午後8時半に全ての行事を終了した。

(一社)日本植木協会会長表彰

役職功労表彰

副会長退任
○植島清春氏 植島植木(有) (東京都)

専務理事退任
○郡司克人氏 事務局 (東京都)

理事退任
○木幡恵光氏 (株)コワタ (福島県)
○小川喜良氏 (有)古屋植木(神奈川県)

ブロック長退任
○田中秀穂氏 (株)ガーデン二賀地 (宮城県)
○駒井正治氏 駒井萬葉園 (京都府)
○二村沢行氏 大分植木(株) (大分県)

支部長退任
○真鍋智紀氏 真鍋庭園苗畑(北海道)
○善林文雄氏 善林園芸 (栃木県)
○別所矩佳氏 奈良県花き植木農業協同組合(奈良県)
○森本泰好氏 (株)徳島県植物市場 (徳島県)
○清瀧毅氏 (有)キョタキナーセリー (大分県)

アボックカルタ賞

○吉澤信行氏 (株)小金井園 (東京都)

※本賞は、植物名称、特に栽培植物の名称の安定に貢献した人に授与されます。

日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション※

あけぼのしだれ
梅 ‘曙枝垂’

Prunus mume ‘Akebonoshidare’



※バラ科 サクラ属の落葉広葉樹 樹高は3~6m。
※江戸時代に作られた栽培品種のひとつで、枝が垂直に垂れ下がるのが特徴。
※花は一重咲きの大輪。淡い紅色で明るく優しい雰囲気がある。

文章・画像協力：日本列島植木植物園運営委員会

※ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

新体制で出発

新会長に穴倉孝行氏選任

本会は、平成28年度通常

総会で、任期満了に伴う役

員改選を行い、役員推薦候

補者規程に基づき理事会推

薦、ブロック推薦の理事候

補者(再任9名、新任5名

と監事候補者3名がいすれ

も満場一致で承認された後

三役が互選により決定され

た。

役員の役職、氏名は次の

通り。

会 長

▽穴倉孝行氏

(再・会長新)

(有)グリーンシクラ・埼玉県

副会長

▽秋山富士雄氏

(再・副会長新)

あすま緑化園・埼玉県

▽阪上和彦氏(再)

(有)作樹園・兵庫県

▽船橋修一氏

(再・副会長新)

(有)船橋緑化・鹿児島県

専務理事

▽佐藤建一氏(新)

事務局

理事

▽菅原 豊氏(新)

(株)みちのくヒートアップ・

岩手県

▽佐久定規氏(再)

(有)千代田緑地・茨城県

▽善林文雄氏(新)

善林園芸・栃木県

▽石井豊氏(新)

石井植木・神奈川県

▽正木伸之氏(再)

(有)正木樹芸研究所・静岡県

▽大崎和生氏(再)

(株)文化農園・愛知県

▽加藤一巳氏(再)

(有)辰巳園・鳥取県

▽牛嶋克典氏(再)

第一滴翠園・福岡県

監 事

▽荒井利昌氏(再)

荒井苗木園・茨城県

▽太田道雄氏(新)

(有)グリーンファームオオ

タ・愛知県

▽岡部 清氏(再)

外部



平成28年度

各専門委員会等の委員長

抱負を語る

総務企画委員会 委員長 (会長)

穴 倉 孝 行

(有)グリーンシクラ・埼玉県



平素より日本植木協会事
業の活動に対しご理解とご
協力をいただき、厚く御礼
を申し上げます。

昨年度は、北海道・東北ブ
ロック会員協力のもと、宮
城県石巻震災復興祈念公園

事業の試験植栽に当協会と
して参画するという大きな
成果を得ることが出来まし

た。今後も、このような事例
が増えるものと予想で
き、日本植木協会全体とし

て震災復興、被災地のまち
づくり、緑化に貢献しなけ
ばならないと考えます。

4年後に控える2020
年東京オリンピック・パラ
リンピック大会では、会場

建設に伴う周辺地域のイン
フラ整備等で緑化樹木の需
要が増えるものと思われま

す。また、日本の樹芸文化
を海外にPRする絶好の機
会でもあります。

当委員会では、協会全体
で取り組む前述の二大事業
を統括するべく、今年度予

算措置を行いました。

これまで以上に、関係団

体、機関と連携を密に、安
定した緑化樹木の供給と生
産につとめ、被災地域復

興、国土緑化、環境保全推
進などの社会的ニーズに応
えていく所存です。

植木協会の社会的責任を
果たすため、会員減少が続
いていく所存です。

最後にになりましたが、会
員皆様のご協力とご支援を
頂きますように宜しくお願い
致します。

皆様におかれましては、
心新たに新年を迎えられ、
益々ご清祥のこととお慶び
申し上げます。

日頃は広報・普及委員会
の事業に対しまして格段の
ご理解、ご協力を賜わり厚
く御礼申し上げます。本年

度、広報・普及委員長をお
おせつかりました、埼玉県
支部の秋山でございます。

どうぞ会員の皆様方宜しく
お願い致します。

広報・普及委員会では、
緑化通信の発行、ホームペ
ージの維持管理、日本列島

植木植物園の運営、その他
広報活動事業等を中心に活
動しています。

はじめに緑化通信です
が、昨年度は、街路樹に
関連したインタビュシリ
ーズ、著名人による植木の

可能性を探る「うえきのち
から」リレー寄稿シリーズ
など、協会の興味・関心

を充足させる内容掲載に努
めました。また、発送形態
の変更を機に紙面折込みサ
ービスを開始し、協会事業

ご案内や賛助会員等商品広
告などを、本誌と共に届
けたいと考えております。

公益目的支出計画実施事
業である緑育出前授業です

が、昨年度は記念樹等贈呈
事業と一体となった授業
例、大分や東京でイベント

と併せて不特定多数の方を
対象とする授業例などの新
たな展開があり、実施7年

で77回、6千人弱の方々に
みどり(植木)の大切さを
お伝えしたことになります。

今後とも会員の皆様に率
先して授業を実施してい
ただけるよう、教材(コンテ

ンツ)をホームページに整
備しましたので、ぜひ有効
にご利用ください。

同じく公益目的支出計画
実施事業である記念樹等贈
呈事業は、昨年は10件の団

体に記念樹を贈呈いたしま
した。今後も全国各地に記
念樹をお届けし、自身で植

えたいと思っています。

今後、協会内外の情報
受発信をしっかりと行い、
牛嶋副委員長として委員の

方々と全力で協会PRを行
いたい、会員の皆様方に納
得していただける様な委員

会になればと思っています。

どうぞ会員の皆様には絶
大なるご協力、ご支援をよ
ろしくお願い致します。

日本列島植木植物園は、
現在全国に約70社園の皆
様に登録していただいてお
りますが、ホームページを利

用した植物園樹木保有情報
の公開を進めるとともに、
植木ユーザーを対象とし

た、園場視察を企画し、デジ
タルとアナログの両輪で植
木の拡大に努めていき

たいと考えております。

公益目的支出計画実施事
業である緑育出前授業です

が、昨年度は記念樹等贈呈
事業と一体となった授業
例、大分や東京でイベント

と併せて不特定多数の方を
対象とする授業例などの新
たな展開があり、実施7年

で77回、6千人弱の方々に
みどり(植木)の大切さを
お伝えしたことになります。

今後とも会員の皆様に率
先して授業を実施してい
ただけるよう、教材(コンテ

ンツ)をホームページに整
備しましたので、ぜひ有効
にご利用ください。

同じく公益目的支出計画
実施事業である記念樹等贈
呈事業は、昨年は10件の団

体に記念樹を贈呈いたしま
した。今後も全国各地に記
念樹をお届けし、自身で植

えたいと思っています。

今後、協会内外の情報
受発信をしっかりと行い、
牛嶋副委員長として委員の

方々と全力で協会PRを行
いたい、会員の皆様方に納
得していただける様な委員

経済優先の高度成長期を
経たのちの現在は、人と人
との絆、自然による癒しな
どに注目が集まる時代とな
ってきました。これらの社
会ニーズに植物・植木が介
在できる場合は数多くあり
ます。植物・植木が人にもた
らす効果・効能・素晴らし
さ、まさに、うえきのちか
らを日本植木協会として
開業準備の対応を始め、動
き始めた東日本大震災の復
興事業への対応を着実に進
めるため、財務状況を勘案
しつつ各事業委員会の一層
の内容見直しと充実を検討
してまいります。

また、我々自らが緑化産
業の根幹を支える植物材料
提供者の集団として、尽き
ることない探究心を持ち続
け、良質な植物材料提供の
ために、

が、昨年度は記念樹等贈呈
事業と一体となった授業
例、大分や東京でイベント
と併せて不特定多数の方を
対象とする授業例などの新
たな展開があり、実施7年
で77回、6千人弱の方々に
みどり(植木)の大切さを
お伝えしたことになります。

今後とも会員の皆様に率
先して授業を実施してい
ただけるよう、教材(コンテ
ンツ)をホームページに整
備しましたので、ぜひ有効
にご利用ください。

同じく公益目的支出計画
実施事業である記念樹等贈
呈事業は、昨年は10件の団
体に記念樹を贈呈いたしま
した。今後も全国各地に記
念樹をお届けし、自身で植
えたいと思っています。

今後、協会内外の情報
受発信をしっかりと行い、
牛嶋副委員長として委員の
方々と全力で協会PRを行
いたい、会員の皆様方に納
得していただける様な委員
会になればと思っています。

シマトネリコ 30,000 株
タマリユウ 60,000 マット
直営農場で生産中



3.11 震災復興に向けて
シャリンバイ (15vp)
30,000 ポット



タマリユウ・シマトネリコ生産販売

タマリユウジャパン

タマリユウ定期便で
いつでも・どこへでもお届けします。

●ご注文はホームページ、
電話・FAX・メールでも承ります。

〒893-0013
鹿児島県鹿屋市札元2丁目 3727-2
TEL: 0994-44-6993
FAX: 0994-44-6996
URL http://www.tamaryu.jp/
E-mail: net-shop@tamaryu.jp



調査・研究委員会 委員長

阪上 和彦

(有作樹園・兵庫県)

調査・研究委員長を務めることになりました。阪上和彦です。初めて担当いたしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

当委員会の主だった業務は、緑化用樹木の品質向上を図り、また協会自身の資質向上や、国土緑化の普及啓蒙を図りつつ、緑化関連産業のポトムアップと、よりの確かな生産体制と供給体制を構築することにより、個々の社團のさらなる発展、成長を図ることを目的としています。

そのために、正確な都道府県別供給可能量調査を実施し、具体的な需要に対応することを旨とします。また、社團別生産数量調査を推進し、新システムの改善・構築に努めます。

また、ユーザーサイドの皆様へのニーズを理解するため一層の情報共有化を図り、設計・コンサルタント

「公益目的支出計画実施事業」の事業実績としては、「植生アドバイザー事業」の「植生管理士」は創設年度（平成22年度）より43名の方々が合格されています。「育成講座」には平成25年度から27年度の3か年で99名の参加をいただきました。

「環境緑化樹木識別検定」におきましては創設年度（平成21年度）から平成27年度までの受験者数は379名です。そのうち100点満点中80点以上の1級合格者は73名です。またこの事業に付随されています「ポイント講習会」の受講者数は平成25年度から27年度の3か年で221名です。



研修・資格委員会

船橋 修一

(有船橋緑化・鹿児島県)

皆様方には日頃より（一社）日本植木協会の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この度、研修・資格委員会を担当することになりました船橋修一と申します。未熟で無力ではございます

「公益目的支出計画実施事業」の事業実績としては、「植生アドバイザー事業」の「植生管理士」は創設年度（平成22年度）より43名の方々が合格されています。「育成講座」には平成25年度から27年度の3か年で99名の参加をいただきました。

「環境緑化樹木識別検定」におきましては創設年度（平成21年度）から平成27年度までの受験者数は379名です。そのうち100点満点中80点以上の1級合格者は73名です。またこの事業に付随されています「ポイント講習会」の受講者数は平成25年度から27年度の3か年で221名です。

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ

「公益目的支出計画実施事業」の事業実績としては、「植生アドバイザー事業」の「植生管理士」は創設年度（平成22年度）より43名の方々が合格されています。「育成講座」には平成25年度から27年度の3か年で99名の参加をいただきました。

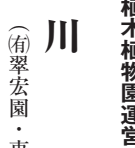
「環境緑化樹木識別検定」におきましては創設年度（平成21年度）から平成27年度までの受験者数は379名です。そのうち100点満点中80点以上の1級合格者は73名です。またこの事業に付随されています「ポイント講習会」の受講者数は平成25年度から27年度の3か年で221名です。

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ



日本列島植木植物園運営委員会 委員長

石川 剛

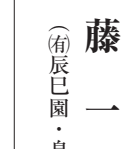
(有翠宏園・東京都)

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ



緑育出前授業実行委員会 委員長

加藤 一巳

(有辰巳園・鳥取県)

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ

「環境緑化樹木識別検定」の今後の事業展開には様々な意見があります。この「環境緑化樹木識別検定」を土台にして創設年度（平成21年度）に目標とされた樹木に関するプロ中のプロ「造園樹木士」を立ち上げるのか？それとも「公益目的支出計画実施事業」が終わった後、継続するのか？廃止するのか？あるいは他の事業と統合するのか？などといったことです。最近の検定試験、ポイ

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター

愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187

http://www.setoen.com/ E-mail: setouchi@setoen.com

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど



供給可能量調査委員会
委員長
佐久 定規

(南千代田緑地・茨城県)

平素は、当委員会及び協会運営に絶大なご協力を頂き感謝申し上げます。

また、平成28年1月22日福岡県博多において第43回通常総会が九州ブロック主管の下、かくも盛大に開催され、会員の多くの参加を頂き成功裏に終わった事を感謝申し上げます。

さて、私も当委員会を担当して2期目に入ろうとしています。2年前は情報検討委員会と供給可能量調査委員会の2委員会を受け持っていました。

情報検討委員会は、各ブロックからPCに精通しているメンバーが6名程集まり社團別生産数量調査のプログラム改善・構築に勤しんでいました。しかしながら、各支部・各ブロックを一本化したプログラムを確立させるには、限界を感じつつ委員会メンバーの責務の限度を超越していると判断し、平成26年度をもって情報検討委員会を閉会しました。



環境緑化樹木識別検定実施委員会
学術委員会 委員長
川原 邦彦

(確実園芸場・茨城県)

穏やかに暖かい新年が過ぎました。私の知る限り初めての暖冬です。人には良い事でしょうか、植物や仕事となるとどうでしょうか？

さて政府やマスコミ等では景気回復が叫ばれていますが、一般には全く恩恵が無い感じです。造園界をみてみると東京を中心としたいわゆる都会では仕事が続いていますが、地方は相変わらず惨憺たるもので、まず植栽工事はないのは相変わらず、管理のみで細々と動いている現状です。消費税の影響はかなりで、来年度の改悪でさらに冷え込むことが予測されます。

こんな折ですが、ここは自分の力を溜める時です。

部会に新たに6ブロックを加え、それぞれ担当者を輩出して頂き、平成27年度より11名で委員会運営をスタートし、各地域における当委員会の担う役割・要望を全うしていく覚悟でおります。

メンバーが多くなればなるほど、多種多様な考えを持つて活動していかなければいけないと気付かせて頂きました。

最後に、新たな供給可能量委員会が会員の皆様により良い情報を発信する委員会として活動できます様、ご協力の程宜しくお願いします。

『識別』は枝葉から植物を鑑定することです。聞きなれない言葉だと思いませんか。私たちが最初は『同定』という言葉を使いました。

『同定』ではなく『識別』だと教えていただき今に至ります。この識別試験は外に向かってアピールできる、植木協会にとって待望の資格試験です。

外部委員の湧井先生をはじめ先生がたにも非常に期待をいただけており、現在必要でないと思われているかたにも、理解していただきたく思っています。

特にこれから勉強しなければならない青年部の諸君には是非挑戦してほしい。若いうちならできなくて当たり前、そして挑戦することが勉強になることも忘れて、またこの業界の文化水



地域性植物適用委員会 委員長
國 忠 征 美

(グローバルグリーンクニタダ・岡山県)

年頭に当たり、当委員会に於いては毎年研修会を開き多くの参加者があり、各々それを生かし活動されていると思う。

昨年までの3年間は東日本大震災跡地の研修を行い、一昨年は環境緑化樹木識別検定実施委員会、植生調査委員会、当委員会の合

準を高めることになるからです。景気の良い時は商売が優先され、なかなかこういう時間が取れないことでしょう。

『識別』は枝葉から植物を鑑定することです。聞きなれない言葉だと思いませんか。私たちが最初は『同定』という言葉を使いました。

『同定』ではなく『識別』だと教えていただき今に至ります。この識別試験は外に向かってアピールできる、植木協会にとって待望の資格試験です。

外部委員の湧井先生をはじめ先生がたにも非常に期待をいただけており、現在必要でないと思われているかたにも、理解していただきたく思っています。

特にこれから勉強しなければならない青年部の諸君には是非挑戦してほしい。若いうちならできなくて当たり前、そして挑戦することが勉強になることも忘れて、またこの業界の文化水



植生調査委員会 委員長
葛 西 伸 彦

(柳グリーンナリー前田・愛知県)

平素は植生調査委員会の活動にご理解ご協力をいただき、深く感謝しております。今期より当委員会委員長を務めさせていただきます葛西伸彦です。

植生調査委員会の主な事業としては、「植生アドバイザー育成講座」と「植生管理士認定試験」があります。

まず「植生アドバイザー育成講座」は、毎年8月末〜9月初旬に3泊4日で群馬県川場村にて行われています。

また「植生管理士認定試験」ですが、植生学の基礎から、調査方法、モニタリングデータからの解析、そこから復元するための手法を座学とフィールドでの実習を行いながら勉強していきます。

平成15年から始まり、12回目となった昨年度のセミナー参加者は41名でした。そのうち一般参加者は29名で、全体参加者の7割となっています。

日本植木協会における公益活動は、当委員会作成のパンフレットに従い生産を行い、(独)森林総合研究所発行「広葉樹の種苗の移動に関する遺伝子的ガイドライン」、文一総合出版発行「図でわかる樹木の種苗の移動に関する遺伝的ガイド」を参考として、生産および販売を行ってまいります。

本試験の累計受験者は72名で、そのうち合格者は43名と非常に難しい試験ではありますが、農林水産省・環境省共管の人材認定事業に登録されており、また、一昨年より発行された【植生景観とその管理】をテキストとして勉強がよりわかりやすくなりました。

是非このテキストで勉強し、受験してください。

今後は各セミナーの修了者、植生管理士のフォローアップを課題として行きたいと考えています。セミナーを卒業すること、植生管理士の認定される事が目的ではなく、今後仕事において役立て頂けるよう勉強できる

目的の事業としても一定の役割を担っています。また、設計コンサルタントや、ゼネコン、造園会社の方々が多く受講するようになり、植木の需要拡大につなげることも今後期待されています。

なお、この講座は、その優れた内容から農林水産省・環境省共管の人材育成事業に登録されており、また、今年8月末で開催予定です。また受講されている方々の協力の皆様には、是非ご参加いただきま

す。次に「植生管理士認定試験」ですが、植生調査から得られたデータをもとに修復のためのプランニングまでを担うことのできるプロの技術者を認定するもので、筆記試験と実技試験で構成されています。ただし植生アドバイザー育成講座の3コース修了者には実技試験が免除されるようになっております。平成21年より毎年秋に開催されている

ビジョン検討委員会は、青年部会役職経験者により構成されており、将来的な植木協会の方向性を含め、協会のあり方、事業の推進等について検討する委員会です。検討した内容については総務・企画委員会に提案いたします。



ビジョン検討委員会 委員長
榊 原 吉 明

(株共栄園緑化土木・千葉県)

セミナーの開催や、管理士の方に調査依頼の情報を提供していきたいと考えております。より価値のある資格にするために今後植生調査委員会としてもレベルを上げていきたいと思いま

す。また、本年は岡山県にて管理士、セミナー卒業生対象の講習会を開催する予定です。合わせて、受講したことのない方を対象とした初心者向け講習会も検討しています。ふるってご参加ください。

今後植生調査委員会へのご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

このままビジョン検討委員会でも課題として検討していた「花きの振興に関する法律(花き振興法)」が平成26年度12月1日より施行されました。今回の法案施行に当たり、花きの定義として「緑化木を含む」とされ、コンテナ栽培植物も鉢物類に包括されると明確に定められました。これにより今後、植木生産の基礎基盤

iPad で、「造園プレゼン」ができます
撮った写真で即営業、「マイ・カタログ」でご提案

見積書ができる
10分でご提案
樹木を登録できる

カタログ & リンク
タブレット用アプリケーション・ソフトウェア
iPad 版 & Windows 版
カタログ 検索

造園・エクステリアのソフトならお任せください
オーセブン株式会社
Tel. 048-840-1577 / Fax. 048-840-1579

樹木のケムシ退治
緑化用ディプロテックス® 乳剤
食用作物には使用できません。

サンケイ化学株式会社
東京営業部
〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1丁目13-1 (048)551-2122
大阪営業所
〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目5-1 (06)6305-5871

アメリカシロヒトリ

「みどり香るまちづくり」 企画コンテスト 入賞団体決定

～環境省 感覚環境のまちづくり検討会 「第2回かおり環境部会」開催～

環境省では、「かおりの樹木・草花」を用いて、良好なかおり環境を創出し、うとする地域の取り組みを支援することを旨とし、平成18年度より「みどり香るまちづくり」企画コンテストを実施している。環境省が主催し、（公社）におい・かおり環境協会（公社）日本アロマ環境協会、及び（一社）日本植木協会が共催。

12月4日（金）環境省会議室において環境部会委員が出席し、平成27年度感覚環境のまちづくり検討会「第2回かおり環境部会」が開催された。環境部会委員は、（公社）におい・かおり環境協会会長・岩崎好陽氏、本協会副会長・植島清春氏、（公社）日本アロマ環境協会理事長・宇田川僚一氏、東京農業大学名誉教授・近藤三雄氏、追手門学院大学地域文化創造機構特別教授・佐藤友美子氏、（株）松栄堂社長・畑正高氏、久留米大学経済社会研究所・藤田八暉氏の7名（50音順）で構成される。オブザーバーとしては、（公社）日本アロマ環境協会、（公社）におい・かおり環境協会、（一社）日本植木協会が参加した。

今回の「みどり香るまちづくり」企画コンテスト10周年記念として「みどり香るまち」大賞を企画し13団体のエントリーの中から大賞を決定した。

今回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト10周年記念として「みどり香るまち」大賞を企画し13団体のエントリーの中から大賞を決定した。

その他の受賞企画

環境大臣賞

「Healing Feeling Garden 癒しの庭」（埼玉県深谷市）

企画者：深谷市 ふかや緑の王国ボランティア

使用樹木：ギンモクセイ、ウスギモクセイ、ヒイラギ等

におい・かおり 環境協会賞

「バラの香りを楽しむ庭」四季の香ローズガーデン（東京都練馬区）

企画者：練馬区環境部みどり推進課

使用樹木：ローズマリ、オールドローズ、アジサイ等

日本アロマ 環境協会賞

「日本一のハンカチツリー 並木と国蝶オオムラサキが舞う香りの森づくり」（青森県平川市）

企画者：青森県立柏木農業高等学校

使用樹木：アジサイ、シンチョウゲ、シャリンバイ等（入賞（5点））

「1」「香り」とホテルの森プロジェクト」（茨城県稲敷郡阿見町）

企画者：レイクの森を守る会

使用樹木：ラベンダー、エゾムラサキツツジ、セイヨウシヤクナゲ等

「2」「癒しの小径」に香りをプラス」（静岡県御殿場市）

企画者：松岡別荘陶磁器館
使用樹木：水無月、オオヤエクチオナシ、ギンモクセイ等

「3」「五感『Gokan』子どもたちの感性を豊かにする公園」（山口県光市）

企画者：株式会社 ビークルーエッセ

使用樹木：コフシ、アオダモ、フエジオア等

「4」「Lemon（レモン）の香るハーニービーガーデン」（大阪府池田市）

企画者：大阪府立園芸高等学校 ハーニービーサイエンスクラブ

使用樹木：バラ、マイヤーレモン、レモンユカリ等

「5」「京都ゆかりの花と香りを広げる梅小路公園花壇」（京都府京都市）

企画者：公益財団法人 京都市都市緑化協会

使用樹木：シンチョウゲ、クチナシ、ミツマタ等

「みどり香るまち大賞 名称：香りでつながる共生社会」障害のある人もない人も花々や木々の香り空間」（第7回環境大臣賞受賞企画）

取組者：独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

取組場所：群馬県高崎市

うえきのちから ～植木が届ける宝物～

心を動かすうえきの香り

株式会社セントスケープ・デザインスタジオ 代表取締役 小 泉 祐貴子 氏



小泉祐貴子（こいずみ・ゆきこ）

株式会社セントスケープ・デザインスタジオ代表取締役。香り風景デザイナー。京都造形芸術大学非常勤講師。博士（学術）。慶應義塾大学で医用工学修士を取得後、（株）資生堂、フィルメニッヒ社（スイス系香料会社）にて研究、開発、マーケティングなど、様々な角度から「人と香り」というテーマに携わる。現在は独立し、室内および屋外空間における香り風景の設計、演出、香水コンサルタントなど、幅広く香りの可能性を展開する。2015年「第9回みどり香るまちづくり企画コンテスト」にておい・かおり環境協会賞受賞。著書に『匂いの風景論』（弘学社、2014）、『風月、庭園、香りとはなにか』（共著）（幻冬舎、2014）など。



春先にすがすがしい香りを放つ沈丁花

ある報告によると、都市で生活する人々はますます増加する傾向にあり、2050年には世界の人口の70%が都市圏に集中すると予測されている。ますます都市化が進むわけだが、とかく無機質になりがちな都会での生活では、身近な場所に「自然」（この意味での「自然」を英語ではGREEN（グリーン）と表現する）を求めるようになるのは人間の本能だろう。世界的な大都市である東京でもこの傾向は顕著である。日本では既にグリーンインテリアやグリーンアクセサリなどが流行し、暮らしのなかにみどり（植物）を配置することで安らぎを得ようとする人々が多くなる。

グリーン・ムーブメントの次の段階としては、目で楽しむことαの付加価値が求められるだろう。屋外の空間におけるみどり、つまり庭や公園の植木や街路樹など、においても同様である。どんなグリーンを身近に置くのか考える時、色、形、質感、開花時期、などだけでなく、植物が発する香りも考えてみる。

とを薦めたい。香りは見えない、けれども、私たちの感情を揺さぶるような強いちからを秘めている。春を待ち望む寒い冬に、さわやかで上品な甘い沈丁花の香りがふと漂ってくる。私の心はやわらぎ、目の前の風景に色がついていくような感覚を覚える。一瞬通り過ぎた香りの風に、過去の記憶が鮮やかに、五感の体験とともに蘇ることを体験した方も多いだろう。庭づくりを仕事としている方は、植物の手入れの時に彼らが発する生き生きした香りに元気づけられた経験もあるのではないだろうか。そんな香りととの出会いを暮らしのなかに散りばめておくことができれば、時を感じるのが楽しくなり、毎日がもっと素敵に輝くに違いない。

植木には「香り」というまだまだ未開拓のちからがある。植木の香りと言っても数えるくらいしか頭に浮かばないという方もいらっしゃるかもしれないが、実際、世の中に存在する植物の香りは一般的に思われている以上に多彩である。

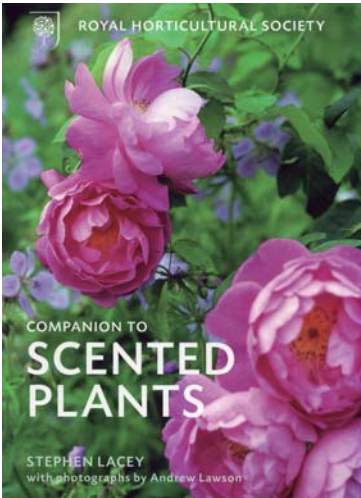
現在私が翻訳作業を進めている香りの植物についての本（原題：Companion to Scented Plants、翻訳：小泉祐貴子、終風舎より5月頃に刊行）に、香りの植物を設計に活用する考え方や具体的な方法についても紹介する予定であるが、この本には高木、低木・灌木、宿根草、球根植物、一年草、ウオールシュラブ、つる植物、高山植物、水辺の植物、バラ、ハーブ、半耐寒性植物など、2000種類以上の植物について幅広く網羅している。

植栽プランにおいては、もちろん色や形、質感など目に見える要素は重要である。これに加えて香りの魅力も設計要素にきちんと取り入れることで、見て美しいだけでなく、季節や時間とともにぐっと心に語りかけてくる庭を造っていくことができる。

香りの植物をいかに加減に配置するのではなく、香りの種類、組合せ、効果、などにも留意して植栽プランに香りのスキームを取り入れれば、どんな場所でも印象的な香り風景を



いつくしみの杜 設計イメージ



Companion to Scented Plants (原本)



ベランダの鉢植えの紅梅からは新春の香りが漂う

コンテナ部会

コンテナ部会平成28年度通常総会を開催

―1月23日、福岡県博多市にて―

平成28年度コンテナ部会
通常総会は、1月23日(土)
9時より、TKPガーデン
シティ博多・高千穂の間で
44名参加のもと、松村副部
会長の開会宣言で開会さ
れ、総会が進行した。

吉澤部会長の挨拶では組
織改革の取り組みと受注拡
大に向けた更なる活動強
化、そして協会との連動を
更に強める挨拶の後、来賓
挨拶では、矢倉孝行会長よ
り今後の環境緑化木のコン
テナ生産植物が重要な役割

を担う部会である事と協会
事業に更なる協力要請の挨
拶があり、次に船橋修一副
会長より協会事業協力のお
礼と収益事業拡大協力等の
挨拶、正木伸之担当理事よ
りコンテナ部会発足の経緯
を含めた挨拶、最後に佐藤

建一専務理事の自己紹介等
含んだ挨拶があり、その後
議事が進行した。

司会者より議事に先立ち
議長選出を会場に諮ったと
ころ、司会一任の声により
司会者は野口利浩氏(野
口農園／福岡県)を議長
として指名し承認され
た。

議長が議事録署名人に
ついて会場に諮ったとこ
ろ、議長一任の声により
清瀧陽平氏(御キヨタキ
ナーセリー／大分県)と
甲斐郁氏(日本ランド
カバ―株／宮崎県)を指
名し、参加者の承認を得

平成28年度事業予算案が

報告され、第3号議案・第
4号議案共に一括裁決し、
賛成多数で承認された。

第5号議案

平成28年度・平成29年度
役員候補者案が事務局より
報告された。松村幹了氏、

第1号議案

平成27年度事業報告は各
委員長、委員(中村氏、梶
村氏、山本氏、恒石氏、黒
田氏)が、スクリーン上の

パワーポイント資料により
事業報告を行った。

第2号議案

平成27年度決算報告を事
務局より報告があり、監事

第6号議案

会則改定案が提案され賛
成多数で承認された。

第6号議案終了後に新役
員は一旦退室した。その

後、新体制が吉澤信行氏よ
り報告され、部会長・吉澤

信行氏、副部会長3名は、
松村幹了氏、飯田貴大氏、

恒石昌夫氏に決定した報告
と、新任幹事の川村和泉

氏、葛西伸彦氏が自己紹介
の閉会の辞で終了した。

記念講演

九州大学仁田坂講師による

朝顔に関する講演

総会終了後11時より、講
師に九州大学大学院理学研
究院生物科学部門・仁田坂

英二先生をお迎えして「江
戸園芸の粋を集めた変化朝
顔・凶譜と遺伝子の構造か

らの栽培家からの知恵を探
る」をテーマに記念講演を
開催した。

講演内容

を行った。なお、田中晴晃
氏はインフルエンザの為欠
席であった。(新役員は別
表参照)

その他の議題提案はな
く、総会は無事閉会し、野

口議長は議長を退任した。

報告事項

1・各賞受賞報告 黄綬褒
章を授与された東京都支

部(御大森畜産緑化部社長
大森齋氏、アボック・カ

ルタ賞受賞東京都支部(株
小金井園社長吉澤信行氏

の各賞受賞報告

2・役員退任報告 北海
道・東北ブロック長ガイ

デン二賀地社長田中秀穂
氏、関西ブロック長駒井

萬葉園駒井正治氏の退任
報告。

3・協力会紹介 恒石生産
技術・研修委員長の司会

進行で総会参加企業紹介
では(株)東海化成、(有)グ

リーンサポート、(株)阪中緑
化資材、大信産業(株)の各

社自己紹介と商品紹介を
行う。

総会関連事項は参加者の
協力のもと、全てを10時30

分に終了し、松村副部会長
の閉会の辞で終了した。

朝顔は南米原産のサトイ
モ科で奈良時代から平安時

代初期に中国より薬(腹痛
薬)として日本に持ち込ま

れた。最も古い絵は広島県
厳島神社所有の国宝平家納

経分別巧徳品表紙図
(1167年)に朝顔が描

かれている。

品種改良の歴史では、江

がない為、復元にはしばら
く時がかかる品種が多いこ
とも理解出来た。

新しい品種朝顔では長時
間咲く品種、夜咲く品種、

常緑品種、多年草品種等の
紹介では今までの知識不足

を痛感した。

今回は仁田坂先生よりレ
ザー発芽処理された朝顔

の種子15〜16種類60袋を頂
き、参加者に配布を行った。

最後に、研究者が少ない
事、愛好家(千葉、東京、

埼玉、愛知、福岡が多少多
い県)が少ない事で研究が

思うように進まない点に苦
慮されている状態のお話

で、講演は終了した。

講演後、正木担当理事、
丹下氏、上条氏、梶村氏よ

り品種改良の苦労した点や
事業性についての質疑応答

がなされた。

最後に吉澤部会長の謝辞
後、仁田坂先生に盛大な拍

手が送られ定刻に講演会は
終了した。

生産技術・研修委員会懇談会を開催

平成28年1月23日(土)
13時15分〜14時45分まで総

会会場のTKPガーデンシ
ティ博多高千穂の間5Fお

いて、正木担当理事、吉澤
部会長、飯田・恒石副部会

長、川村・葛西・山本・梶
村幹事、協力会の伊藤氏、

池村氏、村上氏・西井氏、
阪中氏、春永氏、事務局の

15名参加のもと表題会議を
開催した。

恒石生産技術・研修委員
長の司会進行で開会され、

各参加者自己紹介を行い議
事が進行した。

1. 参加者の現状と業界の
問題点についてフリーデ

ィスカッションを行い、
問題点を討議した。

・コンテナ製品のネット価
格安と協力会製品との差

について

ネット販売業者の仕入
れルートや在庫状況等が

不明の為、どの様な価格
形態かは確認できない、

ただメーカーは輸送費十
原料費等の値上がりで昨

年は販売価格をUPして

4月10日の1ヶ月間

2) 注文書は指定用紙を使
用する事を明記する

3) 納期遅延の案内を明記
する

4) 資料発送は3月上旬

天候悪化もあり、上記議
題をもって委員会を終了し

た。

香り…雑感。

第3回 ～爪楊枝～

足 澤 匡 (小岩井農牧(株)・岩手県)



早春に咲くオオバクロモジの花

最近、爪楊枝(つまようじ)
を使う機会が増えてきました。
というより、爪楊枝が無けれ
ば、生きていけない(笑)。歯
と歯の隙間にモノが挟まるの
は歯茎の老化だと言われてい
ますが、確かに若い頃と比べ
ると、挟まり易く、たまにビ
ックリするほどの大きな肉
のかたまりなどが挟まったり
します。

ところで、「爪楊枝」とは?
「爪」先の代わりになる「楊
(柳)」の「枝」という意味で
すが、虫歯の痛み止めの効果
がある柳の枝で歯を掃除した
ことが語源だそうです。現在
の日本では、材の柔らかさなど
の理由から白樺(シラカバ)な
どを使用することが多いので
すが、高級な爪楊枝には、「ク
ロモジ(黒文字): Lindera um
bellata)」を

使います。「クロモジ」はクスノキ科の落葉低木で、香料としても使われる「クロモジオイル(黒文字油)」には、殺菌効果もありますので、口内を清潔に保つために有効かも知れません。

自然観察会で「クサギ」の匂いを嗅いでももらった後に、お口直し(お鼻直し)に「クロモジ」の枝の香りを嗅いでももらったことがあるのですが、参加者の一人が「あ! 爪楊枝の香り!」とつぶやかれた事がありました。茶道では菓子切りなどにもよく使う「クロモジ」ですが、是非無くすことなく後世に残したい文化ですよ。また、京都の茶庭にはよく「竹穂垣」の代わりにクロモジの枝を使った「黒文字垣」を使いますが、贅沢ですよ。

ちなみに、私は岩手県出身ですが、岩手県内には「クロモジ」の自生はなく、北方系の「オオバクロモジ(大葉黒文字): L.umbellata var. membranacea)」になります。「クロモジ」よりも大形で繊細さはないのですが、存在感があります。

冬、緑の枝に浮かぶ黒い文字(?)を読んでみたり(笑)、枝先に付いている個性的な花芽を見て早春の黄花を想像してみてください。



菓子切りの黒文字

薬用植物のすすめ

その2

薬効がある緑化植物(木本)

株式会社常磐植物化学研究所 資源開発部長 柴田 忠裕

普段緑化樹として扱っている木本植物の中に、薬効ある成分を持つものがある。うまく組み合わせると、観賞しつつ実用性も得ることができる。ただし、利用にあたっては、個人で処方せず薬剤師に相談すること。今号から何回かに分けて、こうした樹木を紹介する。

アケビ
生薬名は木通（もくつう）。アケビ科の蔓性の落葉木本植物で、蔓が巻きながら登攀（とうはん）する。葉は5小葉からなる掌状複葉で、花は短枝の先に総状花序につき、雄花は花序の先に、雌花は基部の方に1～2個つく。果実は秋に紫色に熟す。小葉が3枚のミツバアケビもある。いずれもパーゴラや緑のカーテン等にご利用され、緑陰の提供に使われる。薬用部は蔓で、煎液は少し苦味はあるが、濃い麦茶のような味である。利尿作用、抗炎症作用、抗消化性潰瘍作用があり、消炎性利尿薬として用いる。

アンズ
生薬名は杏仁（きょうにん）。バラ科の落葉小高木で、カラモモの別名がある。3～4月に淡紅色の花をつけ、7月頃に果実が橙黄色に熟す。自家結実性であり、1株でも結実するため、家庭果樹として愛培される。薬用部は果実の核内にある種子で、丸みがあり香りが強いものが最良とされる。煎液は桃仁に似るが、苦味、渋みは桃仁より強い。鎮咳、去痰、利尿作用があり、呼吸器疾患の咳嗽や浮腫に用いる。

ウンシュウミカン
生薬名は陳皮（ちんぴ）。ミカン科の常緑の小高木で、5月頃に甘い香りの白い花を咲かせ、秋に果実が橙黄色に熟す。単為結果性強いいため1株でも結



アケビの雌花（中心の大きな花）と雄花（それ以外）

実することから、家庭果樹として人気がある。薬用部は成熟した果皮で、煎液は香りが良いが苦味が残る。中枢抑制作用、抗炎症作用、健胃作用があり、鎮嘔、鎮咳、去痰や胃部不快感の軽減に用いられる。

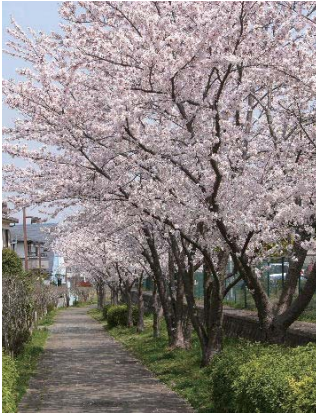
カスミザクラ、ヤマザクラ等
生薬名は桜皮（おうひ）。バラ科の落葉高木で、日本全国いたるところに植栽される。薬用部は樹皮で、煎液は薄味ではあるが、後で苦味が残る。収斂作用があり、血行を改善し、痛みや皮膚の痒みをとる。

カリン
生薬名は木瓜（もっか）。バラ科の落葉小高木で、4～5月に桃色の可憐な花をつけ、10～11月に楕円形で甘い香りを放つ大きな果実（偽果）が黄熟する。果実は硬く生食できないが、砂糖で漬けてシロップとしたり焼酎に漬けて果実酒とする。薬用部は果実で、果肉が厚く酸味があるものが良いとされる。煎液は酸っぱい。利尿、整腸、鎮痛薬として筋肉や関節の痛みを取り除く。

キハダ
生薬名は黄柏（おうばく）。ミカン科の落葉高木で、庭木や公共緑化樹としてはほとんど使われない。樹皮に特徴があり、コルク層が発達し縦の溝がはいる。薬用部は樹皮で、鮮黄色で肥厚したものが最良とされる。アルカロイドを含むため、煎液はかなり苦く、しばらく続く。健胃作用、抗消化性潰瘍作用、止瀉作用、抗炎症作用、血圧降下作用、抗菌作用があり、高ぶった気分の鎮静にも使われる。胃薬の陀羅尼助はこれからできている。



ミカンの花



ソメイヨシノ



カリンの花

植木のお供に

アスコットの樹名札

ASCOT

緑のこと、もっと伝えたい

- ・低価格でお客さまのご要望に応えます！
- ・用途、環境に応じた多様なサイズ展開！
- ・耐候性に優れた高級素材を使用！

ABS ベース	MN-21（大型）／210×150×10
	MN-17（中型）／175×120×10
	MN-15（小型）／150×100×10
AES ベース	MN-S（Sモデル）／120×80×2



株式会社アスコット

TEL. 045-222-0215

〒231-0027 横浜市中区扇町 2-4-5-201

メール／jumeifuda@ascot-f.co.jp

www.ascot-f.co.jp/jumeifuda/

ハードタイプ 内側スリット硬質容器

プリント印刷もできます！

NEW



HP-150 HP-180 HP-210 HP-240
(システムトレイ180対応)

- 底面スリット構造の為、水はけがよく、排水のばらつきが抑えられるため根の動きがよく生育ムラが起りにくい！
- スリットが内側にあるため肥料などによる汚れが目立ちにくい！

商品名	カラー	サイズ	容 積	入 数
HP-150	ブラック・モスグリーン	外径138 × 高さ140(mm)	約1,370cc	180個入り
HP-180	ブラック・モスグリーン	外径176 × 高さ170(mm)	約2,670cc	150個入り
HP-210	ブラック・モスグリーン	外径203 × 高さ190(mm)	約4,100cc	100個入り
HP-240	ブラック・モスグリーン	外径238 × 高さ210(mm)	約6,100cc	80個入り



NIPPORI

日本ポリ鉢販売株式会社

TEL.0574-24-7724

E-mail/nippori@kpot.co.jp

http://www.kpot.co.jp

日本ポリ鉢

検索

プランターにくるストシートを敷けば混植栽でも根張り抜群！

健康な細根を増やし丈夫に生育します



銅化合物 含浸不織布



混植栽5ヶ月後 狭い所でも旺盛に生育 混植栽5ヶ月後の根

くるストシート

ルーピング防止不織布シート

一滴を大海に……

南出株式会社

～緑化木・種苗生産用資材 総合取扱い～

【取扱い品目】

根巻用麻ロープ・麻布・麻テープ、ポット類

支柱各種、防風網・寒冷紗・ネット類各種、

スリングベルト、モッコ、葉刈袋、その他



谷口産業株式会社

TEL：072-432-1828 FAX：072-432-1838 http://www.ts37.co.jp

地球にやさしく、植物にちから強く。

豊かなグリーンライフを提案します。

- コーティング肥料
- ハイコントロール・マイスター®
- ニュートリコート®
- 緩効性肥料
- ユーバー®
- ウッドエース®
- IBワンス®



- 芝・緑化用肥料
- カントリーホスガ®
- グリーンホスガ®
- グリーンベース®
- パーディー®肥料
- 打ち込み肥料
- グリーンパイル®

発売：JCAM

ジェイカムアグリ株式会社

グリーンビジネス部

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目6番6号 TEL.03-5297-8910 FAX.03-5297-8908

エバーアートボード®

A PLACE FILLED WITH GENTLE FEELINGS AND HAPPY FAMILY. COME SHARE OUR FUN AND HAPPINESS AND WATCH YOUR PLANTS GROW.



雨や太陽に強く
いつまでも美しく
使いやすい。

- 1. 圧倒的な美しさ
- 2. 信頼の耐久性
- 3. 現場での施工性
- 4. 優れた経済性

5年保証

5

Takasho

64COLOR

選べるカラーバリエーション 充実の64色

NEW

組立簡単！
省施工で美しく仕上がるユニット式
エバーアートボード
ユニットフェンス



やすらぎのある空間づくり

株式会社タカショー

本社：和歌山県海南市南赤坂20-1 〒642-0017
Tel.073-482-4128(代) Fax.073-486-2560(代)

http://takasho.co.jp

第2回

人間の健康を守る“果樹の力”

ウメ

甲南大学理工学部教授 田中修氏



「ウメは〇〇、サクラは吉野、ミカンは紀の国、クリ丹波」

古くから、「サクラは吉野、ミカンは紀の国、クリ丹波」と謡われます。ところが、ほんとうには、この三つの前に「ウメは〇〇」とついていたのです。江戸時代に編纂された古書に、ウメの名所として、〇〇の地名が記されているのです。さて、〇〇には何という地名が入るでしょうか。

実は、「ウメは〇〇」は、「ウメは岡本」なのです。「岡本って、どこなのか」と思われるでしょう。現在の地名で、兵庫県神戸市東灘区岡本です。JR東海道線の駅では、兵庫県の「芦屋」と「三宮」の間にある駅の一つ「摂津本山」のある地域です。また、阪急電車の大阪と三宮をつなぐ神戸線の「岡本」という駅がある地区です。現在では、おしゃれなブティックやスイーツの店が多く並んでいる街です。岡本のある東灘区のシンボルマークには、ウメの花がデザインされており、「区の花」には、ウメが選定されています。

昔、この地域一帯が梅林だったのです。現在も残されている岡本梅林の中にある案内板には、「岡本梅林の起源は明確ではないが、山本梅岳の岡本梅林記に羽柴秀吉の来訪が記されていることから、かなり古くから存在していたようである。1798年(寛政10年)には、摂津名所図会に岡本梅林の図が登場するほ

ど盛んとなった。」と記されています。

明治時代にも、この地域の相当広い範囲に、ウメは栽培されていたようです。しかし、1938年(昭和13年)におこった山崩れや、その後の戦災で、梅林はその面影をなくしました。その後、地域一帯が宅地化され、家が増えるにつれ、梅林は山側に残るのみになりました。現在、地元の人々により、ウメの名所を復活させる努力が懸命になされています。

ウメは三毒を断つ！

昔から、ウメの果実は、私たちの健康を守ってきました。「ウメは、その日の難逃れ」といわれてきました。「朝に1粒の梅干しを食べて出かけると、その日一日、難が逃れるといわれる」というのです。また、食べられる防菌剤として、お弁当に入れられてきました。

お正月に無病息災を願って、ウメの実と結び昆布をいっしょに飲む「大福茶(おおぶくちゃ)」というのがあります。その謂れは、951年(天曆5年)に、京の都に疫病が流行し、時の村上天皇までもが病に伏されました。この時、天皇が服されたのは、カラカラに萎んだ梅の実を白湯にいれたお茶でした。天皇が服して治癒されたことから、「皇服茶」や「王服茶」と称されました。これにあやかって毎年元旦の朝に飲まれるようになったのが、現在の「大福茶」なのです。

無病息災の願いがかなうようにとお茶に入れられるだけあって、「ウメは三毒を断つ」といわれます。三毒とは、水の毒、食の毒、血の毒です。水の毒とは、体内の水の汚れを意味し、ウメに含まれるカルシウムや鉄分、カリウムなどのミネラルがバランスの良い水分にします。食の毒を断つのは、果実に含まれるクエン酸が、疲れの原因となる乳酸を分解して、エネルギーの発生を促すからと考えられます。血の毒とは、酸性化されてどろどろになった血液を指すのでしょ

う。それに対し、ウメの果実は、アルカリ性食品ですから、血液がどろどろになる酸性化を防ぎます。近年、ウメの果実がもっている、病気の予防や健康の増進に貢献する力が注目されています。たとえば、不妊治療に効果のある物質が含まれていることが見出されました。また、果実には、胃がんの原因となるピロリ菌の増殖を抑制する効果が知られ、血糖値の上昇を抑える効能などが知られてきています。



～読者プレゼント～

田中修先生のサイン入り著書を抽選で5名の方にプレゼントします。本誌折込みの読者アンケートにご回答いただき、FAXでご送信下さい。応募〆切3月10日(木)。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



「植物はすごい 七不思議篇 ～知ってびっくり 緑の秘密～」

田中修著
中公新書 820円＋税

身近な7種類の植物(サクラ、アサガオ、ゴーヤ、トマト、トウモロコシ、イチゴ、チューリップ)、それぞれの七つのふしぎの裏に秘められた植物の巧みな工夫やしくみ、「すごさ」から生き方の工夫や知恵が学べます。

ウエキノミライ

本業界の歴史、変遷について叡智を持ったキーパーソンの言葉から、未来を切り開く手がかりを探ります。

しだれ梅庭園「鈴鹿の森庭園」に至るまで

松葉谷佳彦氏(株)マルマツナーセリー・三重県

しだれ梅庭園「鈴鹿の森庭園」は、研究栽培農園であることを基本に、(株)赤塚植物園と(株)マルマツナーセリー両社が協力しあって運営しております。

その「鈴鹿の森庭園」について、今日に至った経緯、発想の原点などについて、少し触れさせていただきます。

20数年前より、21世紀はハイテクノロジーかローテクノロジーかの2極化が顕著になる時代になると感じていました。18世紀から21世紀までの人類の劇的な発展に寄与したのは、巨大なエネルギー(化石燃料等)や資本をつぎこむことで成しえてきたものです。

反して21世紀は、化石燃料に頼らない循環型社会の代表となる可能性を秘めた未来素材など、生物の機能を模倣することで生まれる新しい技術、バイオミミクリーが注目を浴びています。「トンボ」の羽の凸凹を模倣し弱い風で発電ができる風力発電であったり、「蚊」が人間から血液を吸う時に痛みを感じないことから医療分野でより痛みの少ない採血方法を取りいれたり、水分を足から吸収する「フナムシ」の足の構造のしくみを真似てポンプの役割として応用したり、「蚕」の糸が鉄の強さに匹敵することを応用したり、国土の70%を占める森林の間伐材からとれる毛髪の1/5000の細さの繊維、セルロースナノファイバー(CNF)は鉄より強い素材など、例を挙げればきりがありません。

このような中で、私自身にとってどちらの道に進むべきなのかと考えた時、それは間違いなく、ローテクノロジーの分野でした。自分は最先端技術の中に身を投じるのは到底無理ですし、私自身のもつ能力、「好きか嫌い」かも含めると、ローテクノロジーの第一次産業で、その中でも植物の生産に携わる分野だと考え、その中でもどんな資本家でもまねのできない、自分にしか出来ないものは何だろうかと、何年も模索していました。

そんな中、私の自宅近くの温泉施設でもある「長島温泉」「なばなの里」様依頼によって、あじさい園の設計及びあじさいの納品に関わる機会に恵まれました。オーナー様との打ち合わせを通し、植物の花を観てもらう観光業として業が成り立つことを教えて頂き、またこの分野での楽しさ等に触れさせていただき、非常に興味を持ったのがきっかけとなりました。大きな資本金のある長島さんでさえ成しえない部分がある事を感じたこともひとつのきっかけとなりました。

さて、なぜ今「しだれ梅」なのかというところ…

まず、日本の仕立技術、造形技術、管理技術等という伝統園芸文化の存続と普及の為に貢献したい、という思いからです。その中でも、松、槇、キャラ木に代

表される日本古来より伝承される枝の仕立・造形技術は日本独特のものであり、世界の中でも注目されています。盆栽の仕立技術もその代表であり、後世へ引き継いでいかなければなりません。

また10数年前の時点で、梅、とりわけ「しだれ梅」での仕立・造形技術においては、知りうる限りお出会いさせていただき先輩方が非常に少なく、私自身がその伝承者として技術面を修得したいと思うようになり、スタートしました。

その他、しだれ梅を選んだポイントを挙げてみました。

- ・早春にいち早く花を咲かせ艶(つや)やかであること(“呉服しだれ”という大輪で艶やかな品種があったから)。
- ・「松竹梅」という言葉にも表現され、お目出たい植物のひとつであること。
- ・近年、日本の造形植物である松・槇等の優良木が海外へ流出し、国内の「しだれ梅」を中心とした梅の名木が枯渇するのではないかという懸念があったため。

様々な理由を挙げましたが、日本の伝統園芸文化の存続と普及のため、自分自身が伝承者として技術を後世に伝えてゆく、というのが最大の目的です。

鈴鹿山脈のふもと、平成26年度にオープンした『鈴鹿の森庭園』は、2月初旬から3月までご入園いただけます。ホームページ(<http://www.akatsuka.gr.jp/group/suzuka/>)をご覧ください、足をお運びください。満開のしだれ梅、そして日本の樹芸文化をご覧ください。



満開時の「鈴鹿の森庭園」

会 員 動 向

メールアドレス変更

▷須崎樹苗(有)(東京都)
(新) jyubyou@jcom.zaq.ne.jp

訃 報

田宮 亨様(鳥取県)
(有)田宮園芸(田宮義徳氏父)

平成27年12月31日没 享年87歳

大久保喜三郎様(茨城県)
(有)猿島ガーデン(大久保利一氏父)
平成28年1月9日没 享年94歳

村瀬保江様(愛知県)
(有)前安農園(村瀬弘安氏母)
平成28年1月18日没 享年87歳